



公益社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル

TEL(03)3357-3741/FAX(03)3357-7444

<http://www.jcbl.or.jp/> E-mail:info@jcbl.or.jp

2022年9月2日

第4回アジアカップ 日本代表4チームを派遣

コントラクトブリッジの2022年度アジアオセアニアのチャンピオンを決める第4回アジアカップが10月18日から25日までインドネシア ジャカルタで開催されます。アジア全域およびオセアニアから計10数か国が参加する見込みです。アジアオセアニア圏におけるブリッジの国際大会は毎年行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期、オンライン開催が余儀なくされ、対面式での開催は2019年6月以来、約3年半ぶりとなります。

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟（本部：東京都、会長：細田博之）は、全4部門に日本代表チームを派遣します。来年9月、中国 杭州にて開催予定の“アジア版オリンピック”と称されるアジア競技大会では、ブリッジが正式種目に採用されていて、その前哨戦としても日本代表チームの活躍に期待が高まります。

【The 4th Asia Cup Bridge Championships】

会期：2022年10月18日～25日

会場：The Sultan Hotel & Residence Jakarta（インドネシア）

日本代表チーム・メンバー（五十音順）：

- <メン部門> 加来浩、田中陵華、寺本直志、古田一雄、横井大樹
- <ウイメン部門> 伊藤美登利、大手瑠利、佐藤牧子、高崎恵、西田奈津子、原澤沙依
- <ミックス部門> 胡文輝、杉野すみ子、花田勉、小室祐美、横山純、岡野有紀子
- <シニア部門> 井野正行、今倉正史、大政哲人、ロバート・ゲラー、前田尚志、山田和彦

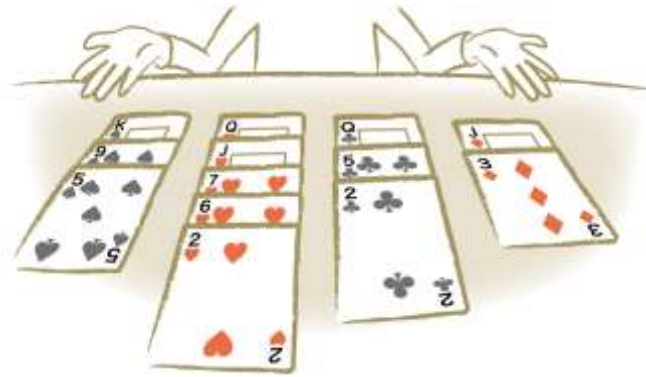
<添付資料> 「コントラクトブリッジ」のご紹介 — 世界に繋がるマインドスポーツ

お問い合わせ：公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟（高野）

Tel:03-3357-3741 Fax:03-3357-7444 E-mail:info@jcbl.or.jp URL:<http://www.jcbl.or.jp/>

「コントラクトブリッジ」のご紹介

— 世界に繋がるマインドスポーツ —



公益社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 (JCBL)

目次

- 1 トリック獲得を競う、ペアで行うカードゲーム
- 2 オークションとプレイ
- 3 ブリッジの特徴
- 4 ブリッジの歴史
- 5 競技人口と国際性
- 6 国際大会における日本代表の主な戦績
- 7 教育現場・学生とブリッジ
- 8 広報関連連絡先

1 トリック獲得を競う、ペアで行うカードゲーム

ブリッジはペア対ペアで「トリック」をとり合い、最終的に得点を競います

ルール

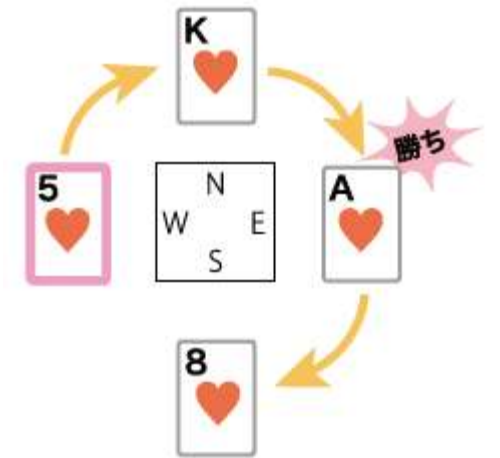
時計まわりに 1 人 1 枚ずつカードを出し、最も強いカードを出した人が勝ち(この 1 回の勝ち負けをトリックと言う)

ゲームの目的はトリックをたくさん取ること

1 人ずつ13回カードを出すと手持ちカードがなくなる

この13トリックを相手より多く取れば 1 セット勝ち(この 1 セットをボードと言う)

※ 1 ジョーカーを除く52枚のカードを使用し、AKQJの順に強く 2 が最も弱い



2 オークションとプレイ

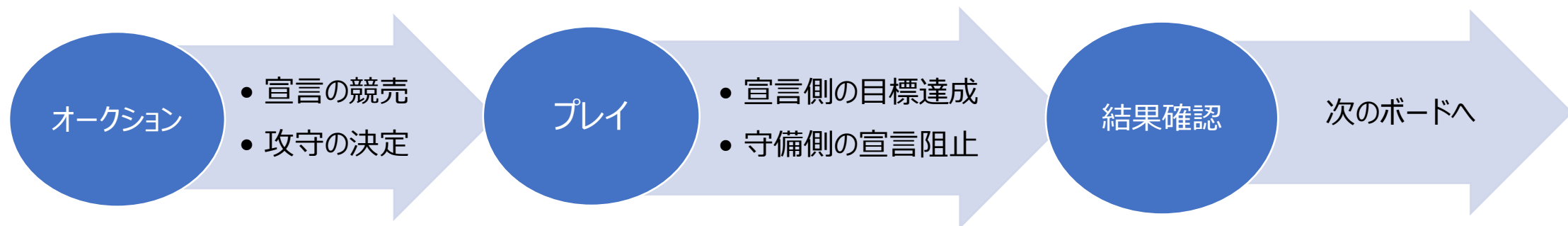
ブリッジはプレイ(前述のトリックテイキング)とオークション(競り)を繰り返すゲームです。オークションではその後のプレイでどれだけトリックを取るか宣言しあいます。

この時宣言以外の言葉は発することができません。

最も高く宣言した側が攻撃側となってプレイをします。

守備側は宣言を阻止すべくプレイをします。

この宣言を巧みに駆使して
コミュニケーションを行います
ブリッジの醍醐味の1つです



3 ブリッジの特徴

- * ブリッジは「考える」ゲーム、マインドスポーツ。
- * 紳士淑女のたしなみとして、元は社交場でのゲーム競技ブリッジだけでなく、社交ブリッジも現存する
- * 「個」の力だけでなく、「個」×「個」の力を最大化するパートナーシップが重視される
- * 集中力、論理的思考、推理力、素早い判断力、忍耐力、コミュニケーション能力などが鍛えられる
- * 年齢に関係なくいつでも始められ、老若男女が同じフィールドで長く楽しめる



4 ブリッジの歴史

- 16世紀 英国でブリッジの原型「ホイスト」誕生
- 1925年 コントラクトブリッジ完成
- 1930年 世界初の国際試合(フランス対アメリカ)
- 1950年 第1回世界ブリッジ選手権試合開催
- 1953年 日本コントラクトブリッジ連盟設立
- 1957年 極東ブリッジ連合設立
- 1958年 世界ブリッジ連合設立
- 1960年 第1回ブリッジ・オリンピック
- 1995年 ブリッジが国際オリンピック委員会に承認
- 2008年 第1回ワールド・マインドスポーツ・ゲームズ
- 2018年 第18回アジア競技大会の種目に採用

第4代サンドイッチ伯が
食事の時間も惜しんだ
ためにサンドイッチが誕生



1929年発行「ブリッジの遊び方」
あの山本五十六も読んだかも？

※山本が真珠湾攻撃を指揮したのち、その戦果をブリッジに喩えて詠んだ句が残っている

5 競技人口と国際性

- 世界ブリッジ連合 (World Bridge Federation) 加盟国数 103
- 競技人口 約 1 億人
- 著名愛好家 ビル・ゲイツ氏、ウォーレン・バフェット氏、マルチナ・ナブラチロワ氏など
- 毎年世界 8 ゾーン(欧州、アセアン、北米など) で国際大会
- 毎年世界大会を開催
- スポーツとして国際オリンピック委員会に承認
- アジア競技大会の競技種目に採用

(2018年ジャカルタ2023年杭州大会)





6 国際大会における日本代表の主な戦績（1）

世界大会

1991	世界ブリッジチーム選手権	ウィメン	ベスト8
1995	世界ブリッジチーム選手権	ウィメン	ベスト8
2004	第12回ブリッジオリンピック	オープン	ベスト8
2008	第1回マインドスポーツゲームズ	シニア	優勝
2017	世界ブリッジチーム選手権	シニア	ベスト8
2017	第5回ワールドユースオープン	ユース	準優勝
2019	世界ブリッジチーム選手権	ウィメン	ベスト8

6 国際大会における日本代表の主な戦績（2）

アジアパシフィック大会(優勝のみ掲載)

1985	PABF選手権	オープン
1987	PABF選手権	ウィメン
2002	PABF選手権	オープン
2003	PABF選手権	シニア
2005	PABF選手権	シニア
2010	APBF選手権	ウィメン
2013	APBF選手権	オープン、ウィメン
2015	APBF選手権	オープン、シニア

PABF: Pacific Asia Bridge Federation

APBF: Asia Pacific Bridge Federation (名称変更後)

7 教育現場・学生とブリッジ

＜コントラクトブリッジの講義を開講している大学＞ 合計約2500履修単位認定

東京大学 大阪大学 京都大学 早稲田大学 青山学院大学 明治大学

＜コントラクトブリッジに関する活動をしている学校＞

東京大学 京都大学 大阪大学

東北大学 早稲田大学 学習院大学

明治大学 北海学園大学

開成高校 開成中学



広報関連連絡先

- 公益社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

TEL : 03-3357-3741 E-mail : info@jcbl.or.jp

事務局長

高野英樹 E-mail : takano@jcbl.or.jp

広報・普及担当理事

柳澤彰子 E-mail : akiko.yanagisawa@ruri.waseda.jp